ボーリング柱状図

調　査　名　　千葉市営住宅小倉台団地建替土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業･工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市 若葉区 小倉台４丁目１番			北　緯	35° 37’ 49.9″
発 注 機 関	千葉市 都市局 建築部 住宅整備課			調査期間	平成28年1月29日～28年2月1日	東　経	140° 10’ 11.2″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人		コ　ア 鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	TP +29.17m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	43.24m							

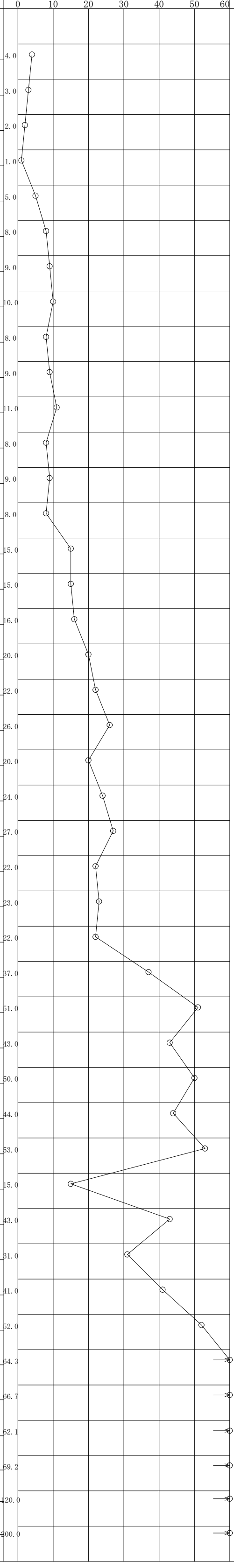
試 錐 機	東邦地下工機製　Ｄ０-Ｄ	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	ヤンマー製　ＮＦＤ-９型	ポ ン プ	扶桑工業　Ｖ6-Ｂ型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	28.37	0.80	0.80		埋土	暗褐			ローム質土主体 砕石混入 下部黒ボク混入
1～4	24.67	3.70	4.50		ローム	茶褐			含水量中～少ない 粘性中～弱い 炭化物・浮石混入 4m付近粘性中位 下部粘土混じる
5	23.47	1.20	5.70		凝灰質粘土	淡褐灰			含水量中～少ない 粘性中～強い 炭化物・浮石混入 部分的に細砂含む
6～14	14.47	9.00	14.70		粘土質細砂	暗褐灰～暗黄灰～暗褐～暗褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 全体的に粘土分を含む 炭化物・雲母片混入 7m付近より暗黄灰色を呈する 部分的に粘土をシーム状に挟む 10m付近より暗褐色を呈する 12m付近より暗褐灰色を呈する
15～19	10.17	4.30	19.00		シルト混り細砂	暗黄灰～暗褐			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 浮石混入 部分的にシルトをシーム状に挟む 18m付近より暗褐色を呈する
20～26	2.47	7.70	26.70		粘土混り細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 浮石混入 部分的に粘土をシーム状に挟む 雲母片混入
27～37	-8.63	11.10	37.80		粘土混り微細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かくほぼ均一 浮石・雲母片混入 部分的にシルトをシーム状に挟む 33m付近含水量やや多い
38～43	-14.07	5.44	43.24		粘土混り細砂	暗褐灰			含水量少ない 砂の粒子やや細かく不均一 全体的に少量の粘土分を含む 部分的に固結状を呈する 雲母片混入

孔内水位m／測定月日：8.90 8/2

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値
1.15	1	1	2	4	4.0
1.45				30	
2.15	1	1	1	3	3.0
2.45				30	
3.15	1	1		2	2.0
3.45	16	14		30	
4.15	1			1	1.0
4.45	30			30	
5.15	2	2	1	5	5.0
5.45		14	6	30	
6.15	2	3	3	8	8.0
6.45				30	
7.15	3	3	3	9	9.0
7.45				30	
8.15	3	3	4	10	10.0
8.45				30	
9.15	2	2	4	8	8.0
9.45				30	
10.15	3	3	3	9	9.0
10.45				30	
11.15	3	4	4	11	11.0
11.45				30	
12.15	2	3	3	8	8.0
12.45				30	
13.15	3	3	3	9	9.0
13.45				30	
14.15	2	3	3	8	8.0
14.45				30	
15.15	3	5	7	15	15.0
15.45				30	
16.15	4	5	6	15	15.0
16.45				30	
17.15	5	5	6	16	16.0
17.45				30	
18.15	6	6	8	20	20.0
18.45				30	
19.15	7	7	8	22	22.0
19.45				30	
20.15	8	8	10	26	26.0
20.45				30	
21.15	6	6	8	20	20.0
21.45				30	
22.15	7	8	9	24	24.0
22.45				30	
23.15	7	9	11	27	27.0
23.45				30	
24.15	6	7	9	22	22.0
24.45				30	
25.15	6	7	10	23	23.0
25.45				30	
26.15	7	8	7	22	22.0
26.45				30	
27.15	10	12	15	37	37.0
27.45				30	
28.15	12	16	23	51	51.0
28.45				30	
29.15	11	15	17	43	43.0
29.45				30	
30.15	12	16	22	50	50.0
30.45				30	
31.15	11	16	17	44	44.0
31.45				30	
32.15	13	17	23	53	53.0
32.45				30	
33.15	5	5	5	15	15.0
33.45				30	
34.15	11	13	19	43	43.0
34.45				30	
35.15	10	11	10	31	31.0
35.45				30	
36.15	11	14	16	41	41.0
36.45				30	
37.15	12	17	23	52	52.0
37.45				30	
38.15	20	24	16	60	64.3
38.43			8	28	
39.15	15	22	23	60	66.7
39.42			7	27	
40.15	18	20	22	60	62.1
40.44			9	29	
41.15	14	27	19	60	69.2
41.41			6	26	
42.15	29	31		60	120.0
42.30		5		15	
43.15	60			60	200.0
43.24	9			9	



原位置試験

深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：1/29　1/30　2/1

ボーリング柱状図

調　査　名　　千葉市営住宅小倉台団地建替土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業･工事名

シートNo.

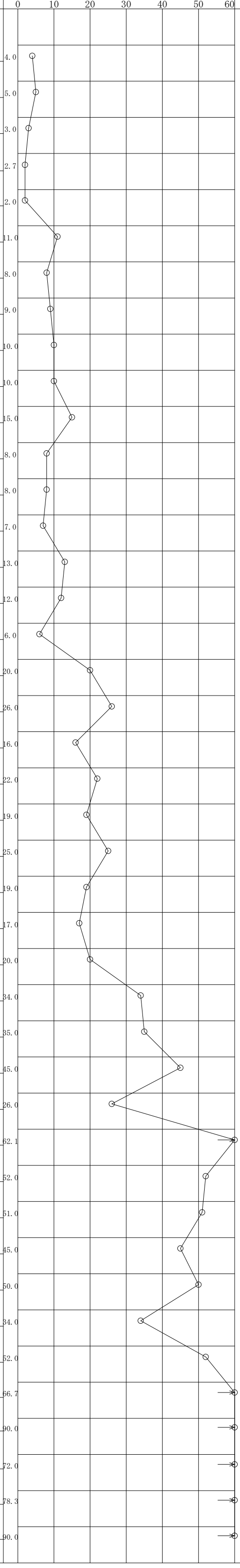
ボーリング名	No.2	調査位置	千葉市 若葉区 小倉台４丁目１番	北　緯	35° 37’ 51.0″
発 注 機 関	千葉市 都市局 建築部 住宅整備課	調査期間	平成28年2月2日～28年2月4日	東　経	140° 10’ 11.1″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人		コ　ア 鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +29.82m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	試 錐 機	東邦地下工機製　Ｄ０-Ｄ	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	42.35m								エンジン	ヤンマー製　ＮＦＤ-９型	ポ ン プ	扶桑工業　Ｖ6-Ｂ型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	28.92	0.90	0.90		埋土	暗褐			ローム質土 砕石混入 下部黒ボク混入
	25.12	3.80	4.70		ローム	茶褐			含水量中～少ない 粘性中～弱い 浮石・炭化物混入 4m付近より粘性中位
	24.12	1.00	5.70		凝灰質粘土	淡褐灰			含水量中位 粘性中～強い 浮石・炭化物混入
	20.82	3.30	9.00		粘土質細砂	黄褐～暗褐～暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 全体的に粘土分を含む 炭化物・雲母片混入 7m付近より暗褐色を呈する 8m付近より暗黄灰色を呈する
	17.02	3.80	12.80		シルト質細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かく不均一 全体的にシルト分を含む 部分的にシルトをシーム状に挟む 炭化物・雲母片混入
	14.92	2.10	14.90		シルト質微細砂	暗黄灰			含水量中位 砂の粒子やや細かくほぼ均一 全体的にシルト分を含む 部分的にシルトをシーム状に挟む
	10.72	4.20	19.10		細砂	暗黄灰～暗褐灰～暗褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 15m付近シルトをシーム状に挟む 17m付近含水量やや多く暗褐色を呈する 18m付近より暗褐灰色を呈する
	9.92	0.80	19.90		貝殻混り細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 全体的に貝殻片を多量に含む
	9.42	0.50	20.40		砂質シルト	淡褐灰			含水量少ない　粘性弱い 全体的に砂分を含む
	3.32	6.10	26.50		シルト混り細砂	黄灰～暗褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 雲母片混入 23m付近より暗褐灰色を呈する
	-7.48	10.80	37.30		粘土混り微細砂	暗褐灰～暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かくほぼ均一 雲母片混入 28m付近より暗黄灰色を呈する 29m付近締まっている 31m付近より締まっている 36m付近含水量中位 37m付近固結シルトを挟む
	-12.53	5.05	42.35		粘土混り細砂	暗黄灰			含水量少ない 砂の粒子やや細かく均一 雲母片混入 全体的に少量の粘土分を含む 部分的に固結状を呈する

孔内水位m／測定月日：9.65

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	1	1	2	4	4.0
1.45				30	
2.15	2	1	2	5	5.0
2.45	14	6		30	
3.15	1	1	1	3	3.0
3.45				30	
4.15	1	1	1	3	2.7
4.48	15		8	33	
5.15	1	1		2	2.0
5.45	18	12		30	
6.15	3	4	4	11	11.0
6.45				30	
7.15	2	3	3	8	8.0
7.45				30	
8.15	2	3	4	9	9.0
8.45				30	
9.15	3	3	4	10	10.0
9.45				30	
10.15	3	3	4	10	10.0
10.45				30	
11.15	4	5	6	15	15.0
11.45				30	
12.15	2	3	3	8	8.0
12.45				30	
13.15	2	2	4	8	8.0
13.45				30	
14.15	2	2	3	7	7.0
14.45				30	
15.15	4	4	5	13	13.0
15.45				30	
16.15	3	4	5	12	12.0
16.45				30	
17.15	2	2	2	6	6.0
17.45				30	
18.15	6	6	8	20	20.0
18.45				30	
19.15	9	9	8	26	26.0
19.45				30	
20.15	4	4	8	16	16.0
20.45				30	
21.15	6	7	9	22	22.0
21.45				30	
22.15	5	6	8	19	19.0
22.45				30	
23.15	6	7	12	25	25.0
23.45				30	
24.15	6	6	7	19	19.0
24.45				30	
25.15	5	6	6	17	17.0
25.45				30	
26.15	5	6	9	20	20.0
26.45				30	
27.15	10	10	14	34	34.0
27.45				30	
28.15	10	12	13	35	35.0
28.45				30	
29.15	14	15	16	45	45.0
29.45				30	
30.15	7	7	12	26	26.0
30.45				30	
31.15	17	23	20	60	62.1
31.44			9	29	
32.15	13	15	24	52	52.0
32.45				30	
33.15	15	16	20	51	51.0
33.45				30	
34.15	13	15	17	45	45.0
34.45				30	
35.15	15	16	19	50	50.0
35.45				30	
36.15	10	10	14	34	34.0
36.45				30	
37.15	13	15	24	52	52.0
37.45				30	
38.15	15	23	22	60	66.7
38.42			7	27	
39.15	25	35		60	90.0
39.35				20	
40.15	17	23	20	60	72.0
40.40			5	25	
41.15	20	29	11	60	78.3
41.38			3	23	
42.15	23	37		60	90.0
42.35				20	



原位置試験

深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：2/2　2/3　2/4

ボーリング柱状図

調　査　名　　千葉市営住宅小倉台団地建替土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業･工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	千葉市 若葉区 小倉台４丁目１番			北　緯	35° 37’ 51.8″
発 注 機 関	千葉市 都市局 建築部 住宅整備課		調査期間	平成28年2月5日～28年2月12日		東　経	140° 10’ 12.7″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人	コ　ア 鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +29.78m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°
総掘進長	42.43m	使用機種	試 錐 機	扶桑工業製　ＫＲ－５０ＨＣ	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
			エンジン	ヤンマー製　ＮＦＤＫ-８型	ポ ン プ	扶桑工業　Ｖ5-Ｐ型	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	29.48	0.30	0.30		埋土	暗褐			ローム質土　砕石混入
1 2 3	26.08	3.40	3.70		ローム	茶褐			含水量中～少ない 粘性中位 浮石・炭化物混入 全体的にほぼ均質 下部に従い軟質となる
4	24.98	1.10	4.80		凝灰質粘土	茶褐 灰			含水量中～少ない 粘性中～強い 軽石混入
5 6	23.48	1.50	6.30		粘土質細砂	茶褐 灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かく不均一 全体的に粘土分を含む 部分的に酸化見られる
7 8 9 10 11 12 13 14	14.88	8.60	14.90		シルト質細砂	茶褐 灰～褐 灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 細粒砂混入 全体的にシルト分を含む 9m付近軽石を薄層状に挟む 12m付近より含水量やや多くなる
15 16 17 18	11.08	3.80	18.70		シルト混り細砂	茶褐 ～茶褐 灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 15m付近含水量少なく締まっている 16m付近より含水量中位
19	10.48	0.60	19.30		粘土質細砂	茶灰			含水量中位　砂の粒子不均一 全体的に粘土分を含む
20 21 22 23 24 25 26 27	2.08	8.40	27.70		粘土混り細砂	茶褐 灰～茶灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 上部軽石の薄層を挟む 部分的に酸化見られる 雲母片混入 部分的に中砂の薄層を少量挟む
28 29 30 31 32 33 34 35 36	-6.82	8.90	36.60		粘土混り微細砂	茶褐 灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かくほぼ均一 全体的に締まっている 下部に従いやや含水量多くなる 中砂混入 部分的にシルトを薄層状に挟む 雲母片混入 36m付近含水量やや多い
37 38 39 40 41 42	-12.65	5.83	42.43		粘土混り細砂	茶褐 灰			含水量少ない 砂の粒子やや細かく不均一 雲母片混入 全体的に締まっている 部分的に固結状を呈する

孔内水位m／測定月日：10.30

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値
1.15	1	1	2	4	4.0
1.45				30	
2.15	1	1	1	3	3.0
2.45				30	
3.15	1	1	1	3	3.0
3.45	15	8	7	30	
4.15	1			1	1.0
4.45	30			30	
5.15	4	4	5	13	13.0
5.45				30	
6.15	2	3	3	8	8.0
6.45				30	
7.15	4	4	4	12	12.0
7.45				30	
8.15	5	5	6	16	16.0
8.45				30	
9.15	4	6	6	16	16.0
9.45				30	
10.15	4	4	7	15	15.0
10.45				30	
11.15	4	4	7	15	15.0
11.45				30	
12.15	3	3	3	9	9.0
12.45				30	
13.15	2	3	4	9	9.0
13.45				30	
14.15	2	3	3	8	8.0
14.45				30	
15.15	15	30	15	60	75.0
15.39			4	24	
16.15	6	7	7	20	20.0
16.45				30	
17.15	6	9	12	27	27.0
17.45				30	
18.15	9	7	7	23	23.0
18.45				30	
19.15	3	4	5	12	12.0
19.45				30	
20.15	6	7	8	21	21.0
20.45				30	
21.15	6	6	9	21	21.0
21.45				30	
22.15	6	6	10	22	22.0
22.45				30	
23.15	6	6	9	21	21.0
23.45				30	
24.15	4	5	8	17	17.0
24.45				30	
25.15	5	6	9	20	20.0
25.45				30	
26.15	6	7	8	21	21.0
26.45				30	
27.15	8	10	11	29	29.0
27.45				30	
28.15	8	11	18	37	37.0
28.45				30	
29.15	9	15	19	43	43.0
29.45				30	
30.15	11	17	25	53	53.0
30.45				30	
31.15	9	15	23	47	47.0
31.45				30	
32.15	12	16	18	46	46.0
32.45				30	
33.15	8	13	16	37	37.0
33.45				30	
34.15	8	12	16	36	36.0
34.45				30	
35.15	10	13	15	38	38.0
35.45				30	
36.15	7	7	6	20	20.0
36.45				30	
37.15	11	15	27	53	53.0
37.45				30	
38.15	14	46		60	90.0
38.35				20	
39.15	15	30	15	60	60.0
39.45				30	
40.15	13	17	24	54	54.0
40.45				30	
41.15	15	21	24	60	62.1
41.44			9	29	
42.15	15	23	22	60	64.3
42.43			8	28	

原位置試験

深度 m	試験名および結果
3.70	孔内水平載荷試験
4.30	
5.70	孔内水平載荷試験
6.30	

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
2.80	D3-1	D
3.60	D3-2	D
4.60		

室内試験（　）

掘進月日：2/6　2/8　2/9　2/10　2/12

ボーリング柱状図

調　査　名　　千葉市営住宅小倉台団地建替土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業･工事名

シートNo.

ボーリング名	No.4	調査位置	千葉市 若葉区 小倉台４丁目１番			北　緯	35° 37’ 48.6″
発 注 機 関	千葉市 都市局 建築部 住宅整備課		調査期間	平成28年2月4日～28年2月10日		東　経	140° 10’ 10.3″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人	コ　ア 鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +28.95m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°
総掘進長	42.30m	使用機種	試 錐 機	東邦地下工機製　Ｄ０-Ｄ	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
			エンジン	ヤンマー製　ＮＦＤ-９型	ポ ン プ	扶桑工業　Ｖ6-Ｂ型	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	28.15	0.80	0.80		埋土	暗褐			ローム質土 砕石混入 下部黒ボク混入
1～4	24.15	4.00	4.80		ローム	茶褐			含水量中～少ない 粘性中～弱い 浮石・炭化物混入 4m付近より含水量中位
5～6	22.60	1.55	6.35		凝灰質粘土	淡褐灰			含水量中～少ない 粘性中～強い 浮石・炭化物混入 全体的に砂分を少量含む
7～8	20.05	2.55	8.90		粘土混り細砂	褐～暗褐灰～暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かく不均一 全体的に粘土分を少量含む 炭化物混入 7m付近より暗褐灰色を呈する 8m付近より暗黄灰色を呈しシーム状に粘土を挟む
9～11	17.05	3.00	11.90		シルト混り細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 全体的にシルト分を少量含む 雲母片混入
12～14	13.85	3.20	15.10		シルト質細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 全体的にシルト分を含む 部分的にシルトをシーム状に挟む 12m付近縞状にシルトを挟む
15～19	9.25	4.60	19.70		シルト混り細砂	暗黄灰～暗褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 炭化物・雲母片混入 19m付近より含水量やや多くなり、シルトをブロック状に挟む 暗褐灰色を呈する
20	8.70	0.55	20.25		シルト質細砂	淡褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子ほぼ均一 全体的シルト分を含む
21～27	1.45	7.25	27.50		シルト混り細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子ほぼ均一 部分的にシルトをシーム状に挟む 雲母片混入
28～36	-7.65	9.10	36.60		粘土混り微細砂	暗黄灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かくほぼ均一 浮石・雲母片混入 部分的にシルトをシーム状に挟む 32m付近含水量やや少なく締まっている
37～42	-13.35	5.70	42.30		粘土混り細砂	暗黄灰～暗褐灰			含水量少ない 砂の粒子やや細かく不均一 全体的に少量の粘土分を含む 部分的に固結状を呈する 雲母片混入

孔内水位m／測定月日：8.55 ≒

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値
1.15	1	1	2	4	4.0
1.45				30	
2.15	1	2	1	4	3.8
2.47		15	7	32	
3.15	1	2	2	5	4.3
3.50		15		35	
4.15	1	1	1	3	3.0
4.45				30	
5.15	3	2	3	8	8.0
5.45	12	8		30	
6.15	2	4	5	11	11.0
6.45				30	
7.15	5	5	6	16	16.0
7.45				30	
8.15	4	6	6	16	16.0
8.45				30	
9.15	4	5	6	15	15.0
9.45				30	
10.15	5	5	6	16	16.0
10.45				30	
11.15	4	5	6	15	15.0
11.45				30	
12.15	3	4	4	11	11.0
12.45				30	
13.15	3	3	3	9	9.0
13.45				30	
14.15	3	4	5	12	12.0
14.45				30	
15.15	5	5	6	16	16.0
15.45				30	
16.15	5	6	7	18	18.0
16.45				30	
17.15	5	7	8	20	20.0
17.45				30	
18.15	4	5	5	14	14.0
18.45				30	
19.15	2	3	4	9	9.0
19.45				30	
20.15	1	6	14	21	21.0
20.45				30	
21.15	10	13	17	40	40.0
21.45				30	
22.15	8	12	15	35	35.0
22.45				30	
23.15	7	10	13	30	30.0
23.45				30	
24.15	6	8	11	25	25.0
24.45				30	
25.15	6	7	8	21	21.0
25.45				30	
26.15	6	8	9	23	23.0
26.45				30	
27.15	6	8	10	24	24.0
27.45				30	
28.15	8	10	13	31	31.0
28.45				30	
29.15	8	12	13	33	33.0
29.45				30	
30.15	10	12	16	38	38.0
30.45				30	
31.15	11	15	17	43	43.0
31.45				30	
32.15	14	18	23	55	55.0
32.45				30	
33.15	12	12	13	37	37.0
33.45				30	
34.15	9	10	15	34	34.0
34.45				30	
35.15	8	11	14	33	33.0
35.45				30	
36.15	11	13	18	42	42.0
36.45				30	
37.15	13	15	23	51	51.0
37.45				30	
38.15	20	27	13	60	75.0
38.39			4	24	
39.15	18	32	10	60	78.3
39.38			3	23	
40.15	17	29	14	60	72.0
40.40			5	25	
41.15	18	37	5	60	85.7
41.36			1	21	
42.15	37	23		60	120.0
42.30		5		15	

原位置試験

深度 m	試験名および結果
3.70～4.30	孔内水平載荷試験
6.70～7.30	孔内水平載荷試験

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
3.50～4.30	D4-1	D
5.00～5.80	D4-2	D

室内試験（　）

掘進月日：2/4　2/5　2/6　2/8　2/10

ボーリング柱状図

調　査　名　　千葉市営住宅小倉台団地建替土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業･工事名

シートNo.

ボーリング名	No.5	調査位置	千葉市 若葉区 小倉台４丁目１番	北　緯	35° 37’ 50.6″
発 注 機 関	千葉市 都市局 建築部 住宅整備課	調査期間	平成28年2月2日～28年2月5日	東　経	140° 10’ 13.9″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人	コ　ア 鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP +29.29m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	42.40m							

試 錐 機	扶桑工業製　ＫＲ－５０ＨＣ	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	ヤンマー製　ＮＦＤＫ-８型	ポ ン プ	扶桑工業　Ｖ5-Ｐ型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	28.59	0.70	0.70		埋土	暗褐			ローム質土 部分的に黒ボク混じる
1～3	25.49	3.10	3.80		ローム	茶褐			含水量中位 粘性中位 上部含水量やや少ない 全体的にほぼ均質 浮石・炭化物混入
4	24.39	1.10	4.90		凝灰質粘土	茶灰～淡褐灰			含水量中～多い 粘性中～強い 部分的に酸化が見られる 浮石・炭化物混入
5～6	22.99	1.40	6.30		粘土質細砂	茶褐灰			含水量中位 砂の粒子不均一 全体的に粘土分を含む 部分的に粘土分多いところがある
7～10	18.59	4.40	10.70		粘土混り細砂	茶褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子ほぼ均一 雲母片混入 7m付近軽石を薄層状に挟む 9m付近軽石多量混入 10m付近ラミナ見られる
11～14	14.99	3.60	14.30		粘土質細砂	茶褐灰～茶灰			含水量中位 砂の粒子不均一 全体的に粘土分含む 部分的に粘土が互層状に挟む 下部含水量やや多くなる
15～17	11.49	3.50	17.80		シルト混り細砂	茶褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子不均一 中砂混入 部分的に軽石の薄層を挟む
18	10.49	1.00	18.80		砂質シルト	茶灰～淡褐灰			含水量中位　粘性中～強い 全体的に砂分を含む 部分的に酸化見られる
19～29	-0.31	10.80	29.60		シルト混り細砂	茶褐～褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや不均一 上部含水量やや多い 雲母片混入 23m付近レンズ状に酸化が見られる 26m付近ラミナ見られる
30～36	-7.21	6.90	36.50		粘土混り微細砂	茶褐灰			含水量中～少ない 砂の粒子やや細かくほぼ均一 雲母片混入 部分的にラミナ見られる 部分的にシルトをシーム状に挟む
37～42	-13.11	5.90	42.40		粘土混り細砂	茶褐灰			含水量少ない 砂の粒子やや細かく不均一 全体的に粘土分を少量含む 部分的に固結状を呈する 全体的に締まっている

孔内水位m／測定月日：10.10 ≡

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値
1.15	2	2	2	6	6.0
1.45				30	
2.15	1	1	1	3	2.8
2.47	15		7	32	
3.15	1	1	1	3	3.0
3.45	14	9	7	30	
4.15	1			1	1.0
4.46	31			31	
5.15	4	4	5	13	13.0
5.45				30	
6.15	3	4	5	12	12.0
6.45				30	
7.15	2	4	6	12	12.0
7.45				30	
8.15	6	7	7	20	20.0
8.45				30	
9.15	5	5	6	16	16.0
9.45				30	
10.15	3	3	4	10	10.0
10.45				30	
11.15	2	3	3	8	8.0
11.45				30	
12.15	2	2	3	7	7.0
12.45				30	
13.15	1	1	2	4	4.0
13.45				30	
14.15	2	5	7	14	14.0
14.45				30	
15.15	5	6	8	19	19.0
15.45				30	
16.15	7	8	8	23	23.0
16.45				30	
17.15	5	6	10	21	21.0
17.45				30	
18.15	2	2	2	6	6.0
18.45				30	
19.15	3	7	10	20	20.0
19.45				30	
20.15	3	5	7	15	15.0
20.45				30	
21.15	4	5	6	15	15.0
21.45				30	
22.15	5	5	6	16	16.0
22.45				30	
23.15	3	4	6	13	13.0
23.45				30	
24.15	4	5	6	15	15.0
24.45				30	
25.15	3	5	8	16	16.0
25.45				30	
26.15	6	8	12	26	26.0
26.45				30	
27.15	6	7	11	24	24.0
27.45				30	
28.15	8	9	12	29	29.0
28.45				30	
29.15	7	9	12	28	28.0
29.45				30	
30.15	13	16	21	50	50.0
30.45				30	
31.15	9	11	12	32	32.0
31.45				30	
32.15	9	11	15	35	35.0
32.45				30	
33.15	5	5	11	21	21.0
33.45				30	
34.15	8	11	14	33	33.0
34.45				30	
35.15	6	7	14	27	27.0
35.45				30	
36.15	3	6	12	21	21.0
36.45				30	
37.15	11	19	30	60	64.3
37.43			8	28	
38.15	13	20	25	58	58.0
38.45				30	
39.15	15	20	25	60	75.0
39.39			4	24	
40.15	12	18	22	52	52.0
40.45				30	
41.15	12	18	23	53	53.0
41.45				30	
42.15	15	25	20	60	72.0
42.40			5	25	

原位置試験

深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：2/2　2/3　2/4　2/5